

大安寺報

曹洞宗 圓祥山大安寺 住職:長岡俊應

〒039-4401 青森県むつ市大畑町本町80番地
Tel 0175-34-2926 Fax 0175-34-6426
E-mail info@daijanji.jp

名句・名言に学ぶ

五島美代子 (歌人)

力いっぱい生ききりて吾の枯るとき
おのづから子に移るものあらむ

晩春、桜が散ると同時に、土や木の枝から一斉に草や葉が芽吹き、丁度月遅れの節句の時期には、新緑もたけなわとなります。まるでプログラムされたかのよ
うな自然の営みには毎年驚かされます。そしてまた、その緑を見る度に、冒頭の歌を思い出すのです。草や葉が芽吹くその前年の晩秋、いのちは交代の季節を迎えます。特に落葉樹では、秋になると葉が色づき、やがて地面に落ちて養分となります。そしてさらに、落ちた場所の近くから春になると新しい葉が芽吹くのです。その様子は、まさに私たち人間世界の中の、「いのち」と「生き方」のリレーの有様と重なるのです。

言うまでもなく、「いのち」は、親から子へ、子から孫へと受け継がれます。それと同様に、「生き方」もまた、前の世代から次の世代へと受け継がれていくものです。

その受け継がれ方は様々です。言い含めるように、「ことば」で伝わることもあるでしょうが、大抵は、「おのづから」

(自然と) 伝わることが多いのではないのでしょうか? とりわけ、日々のつとめを一杯つとめて生きる姿は、「ことば」にせざるも伝わるものです。「子は親の背中を見て育つ」ではないですが、「生き方」は本人が自覚していなくても、受け継がれているものです。

冒頭の歌は、そうやって生きてこられたからこそその晩年の感慨を歌ったものです。私たちもまた、老境に至っては、このような感慨と達成感を持ちながら、日々を過ごせたらと思います。そしてまた、大切なご家族を亡くされた方は、遺された自身そして家族に、故人の「生き方」が受け継がれていることに思いを致していただきたいのです。通夜・葬儀・法事は、そのことに気づき、遺してくれた「生き方」の、さらなる継承を誓う大切な節目でもあります。



大切なことは
目に見えぬこと
が多い。だから
こそ、「心を込めて
想いを馳せる」
ひとときを、共
に大切にしてま
いりましょう。

合掌

キャンドルライト

寺 YOGA

ともしが揺れる

夜のお寺での、

ヨーガと仏教夜話



○日時—六月十八日 (水)
○午後七時~九時
※午後六時四十五分受付開始

○内容—

ヨーガ/坐禅/お茶をい
ただきながらの仏教夜話

○場所—当寺本堂

○ヨーガ指導—
中島敬子先生

○定員—三十名

○参加費—五百円

○備考—動きやすい服装で。

○事前予約—0175-34-6426
(Fax)、info@daijanji.jp、
0175-34-2926 (電話)まで、

お名前をご連絡ください。

大安寺の宗旨：曹洞宗 本山：福井県永平寺・神奈川県總持寺 高祖：道元禪師 太祖：瑩山禪師
ご本尊：釈迦牟尼仏 本尊唱名：南無釈迦牟尼仏 (なむしゃかむにぶつ)